

第9回太田市景観賞 表彰式・景観講演会

日時: 令和2年1月27日(月) 午後2時00分～
会場: 太田市役所 南庁舎 3階 大研修室

本市は、平成19年9月に景観法に基づく景観行政団体となり、太田市景観計画や太田市景観条例、太田市屋外広告物条例を定め、市の良好な景観づくりを進めています。

そこで、魅力ある景観の保全・形成に対する市民意識の向上を図るため、市の景観づくりに貢献した市民、事業者及び団体等を、「太田市景観賞」として表彰しています。

第9回目の本年度は、全部で13件の応募をいただきました。応募された皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。

景観は、私たちの見る風景であり、まちの表情です。市民や事業者の皆様による活動は、まちなみの一部であり、それぞれが景観を意識することで、まちの印象がより良いものになると考えております。今回表彰される4件はもとより、応募いただいた皆様の活動は、どれも良好な景観づくりへの配慮と努力が感じられます。皆様の取り組みが市民の誇りとなり、魅力ある景観づくりの推進に貢献することを期待しています。

太田市景観賞の実施にあたりご協力くださいました多くの皆様に感謝申し上げます、御礼のあいさつといたします。



太田市長 清水聖義

【審査】 太田市景観審議会表彰等評価部会

大賞 「太田アートガーデン」

設計: 慶應義塾大学ホルヘ・アルマザン研究室
所有: 中村 政久 (台之郷町)



賞 「認定こども園 Kids Island うちがしま」

設計: 株式会社 時設計
所有: 社会福祉法人ならの実会 (内ヶ島町)



賞 「太田伝統稲刈り・稲干し」 星野 雅範 (新井町)



賞 「樹木の造形、生垣」 窪田 英敏 (新田下田中町)



【講評】 太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

今年で9回目を迎えた太田市景観賞には合計13件の応募をいただきました。景観に配慮した建築や庭園、地域の活動など非常に充実した応募内容でした。審査においては、色彩や造形の工夫、周囲の景観との調和、人々を引きつけ景観意識の高揚に貢献していることなどを評価の基準として現地を訪問しました。いずれも良好な景観づくりに貢献する取り組みで、活動されている方々の地道な努力と熱意が伝わってくるものでしたが、審議会委員8名による審議の結果、4件の表彰を決定いたしました。

大賞の「太田アートガーデン」は、駅前の空き家を改修し、既存素材を活かしながら緑ある開放的な空間へと大きく印象を変えた点が高く評価されました。

「太田伝統稲刈り・稲干し」は、稲作体験などで地域の人々を巻き込こんで、まちなかに貴重な景観を保持することに貢献していました。

「認定こども園Kids Island うちがしま」は、周辺の住宅街に調和した平屋建てで、圧迫感を与えない造形が評価されました。

「樹木の造形、生垣」は職人の手を加えずご自身で工夫を凝らした生垣で、道行く人を楽しませるような地域の景観づくりに貢献していました。

これからも太田市の良好な景観づくりの手引きとなる役割を担われる事を心より願っております。

今後とも、景観に配慮した建築や緑化、歴史ある建物や樹木の保全など、数多くの取り組みがおこなわれることを期待しております。

第9回太田市景観賞 表彰式・景観講演会 プログラム

・14:00～ 表彰式

挨拶：主催者挨拶 太田市長 清水 聖義
来賓挨拶 太田市議会議長 久保田 俊

表彰：大賞「太田アートガーデン」
賞「太田伝統稲刈り・稲干し」
賞「認定こども園 Kids Island うちがしま」
賞「樹木の造形、生垣」

講評：太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

・14:30～ 講演会

演題：太田市の景観まちづくりの歩みとこれから

講師：増山 正明 氏（足利大学名誉教授・太田市景観審議会会長）

講師紹介 増山 正明（ますやま まさあき）氏

◇略歴

1951年 栃木県生まれ

東京理科大学建築学科卒業、同大学院、東京工業大学大学院修了
博士（工学）（東京工業大学）、一級建築士

（株）大林組、足利工業大学工学部助手、講師、助教授（准教授）、教授を経て、
2019年より足利大学名誉教授

◆都市・景観に関する主な活動

栃木県景観アドバイザー
栃木市景観審議会会長
栃木市都市計画審議会会長
栃木市建築審査会会長
足利市景観委員会委員長
佐野市景観審議会会長
群馬県太田市景観審議会会長
など

◆主な著書等

「パブリックアメニティ」、ぎょうせい
「景観照明」Part1～Part3、景観材料推進協議会
「地域性とアーバンデザイン」、日本建築学会
など



主催：太田市
共催：群馬県都市計画協会
後援：関東地方都市美協議会